

統合分野 在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	在宅看護Ⅳ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	大畑浩美	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>地域の特性を知り、その地域で暮らす、在宅療養者とその家族が、疾病や障害による機能的な制約や困難がありながらも保健・医療・福祉の支援や地域社会の協力を得てその人らしく生活を送っていいけるよう、支援していくために必要となる在宅看護における看護過程の展開を具体的に学んでいく。よって到達目標は、在宅看護過程の特徴を理解し、在宅で療養生活をする対象に応じた看護がイメージできることである。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 地域連携システム」における看護機能と役割を理解する。頭づくりをしよう！	講義・グループワーク	
2回目	1. データより地域住民（静岡市）の生活/健康状況や地域住民の生活を支える社会資源を知る	講義・グループワーク	
3回目	発表会	プレゼンテーション	
4回目	1. 訪問看護開始に向けての準備及び事例紹介	講義	
5回目	在宅で療養生活をする対象に応じた看護（事例） 1. 在宅看護過程の特徴 1) 療養者、家族の価値観、人生観の尊重、のぞむ生活の実現、自己決定とセルフケアへの支援	講義・演習	
6回目	1. 在宅看護過程の特徴 1) アセスメントの視点（情報収集の視点とアセスメントの特徴） 療養者、家族と介護者、住環境・経済状況、活用している社会資源	講義・演習	
7回目	1. 在宅看護過程の特徴 1) 活用できる社会支援システム	講義・演習	
8回目	1. 在宅看護過程の特徴 1) 看護活動の実際 目標設定と目標の共有化 2) 看護活動の評価の視点 ケアマネジメント・生活支援と医療処置・緊急時の対応	講義・演習	
9回目	1. 在宅看護過程の特徴	講義・演習	
10回目	1. 在宅看護過程の特徴 1) 看護計画、援助計画表の作成ポイント	講義・演習	
11回目	看護過程演習のまとめ	講義・演習	
12回目	1. 多職種連携講義 事例を通し連携の必要性を学ぼう (静岡県立短期大学 福祉学科の学生との合同講義)	講義、グループワーク (大畑・県短教授他)	
13回目	1. 多職種連携講義 事例を通し連携の必要性を学ぼう (静岡県立短期大学 福祉学科の学生との合同講義)	講義、グループワーク (大畑・県短教授他)	
14回目	1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割 「静岡型地域包括ケアシステムとは」	静岡市出前講義	
15回目	終了レポート作成・実習オリエンテーション	試験・講義	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了レポート「在宅で療養する方を支援するために必要なこと」A4 1枚程度（40%）</li> <li>・看護過程（演習課題）60%</li> </ul>		
受講生に対するメッセージ	グループワークは統計資料を読み解いて課題を見つける力の育成を図る。グループで協力しながら進めていくことが必要となる。積極的に意見交換をしてほしい。看護過程演習は実習で培った知識を統合し応用することが求められる。全講義出席できることが望ましい。		
テキスト	在宅看護論 医学書院 在宅療養を支える技術 ナーシンググラフィカ		
参考書			